

# 第1章 コミュニティ 第4節 男女共同参画社会

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
男女共同参画推進センターふらっと	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	貸し部屋全体の平均稼働率は35%であるが、部屋ごとに稼働率を見ると、目標を達成している部屋もある。今後は、稼働率の低い部屋について重点的に活用を促すよう努めたい。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	9,575	9,312	部屋使用者数	部屋の稼働率 (会議室・研修室・生活工房の月別稼働率の平均)	男女共同参画に係る「学習」や「交流」の場を提供することがこの事業の目的のひとつであるため、貸出し部屋の稼働率を指標とする。				施設使用料の減免の運用基準の施行開始により、有料の件数が増加した。また、施設整備に関しては、ガス自動遮断装置取り替え修繕及び生活工房用ソファの張り替えを行った。				
	根拠法令	所沢市男女共同参画推進条例	H28予算現額	H28決算額(見込み)	複写機・印刷機使用者数	図書・ビデオ利用者数	H28目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	事業の目的及び具体的な内容	男女共同参画に係る「学習」、「相談」、「交流」、「情報」の場を提供するとともに、できるだけ多くの方に男女共同参画への理解と意識の向上を図ることを目的とし、施設(会議室・研修室・生活工房)、印刷機、男女共同参画に関する図書・ビデオ・DVDの貸出を行う。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤 特別職	実績	H27年度目標	H27実績	生活工房の稼働率が低いため、目標達成に至らなかった。今後も、引き続き窓口での案内等で利用者に積極的な活用を促す。			施設等の貸し出しについて効果的な運用に努めるほか、老朽化に伴う施設管理及び運営手法など、センターの今後のあり方を検討していく。				
	0.72人	0.00人	23,895人	45%	37%										
	6,235千円	1.40人	194人	45%	35%										
H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤 特別職	0.85人	0.00人	161人	H29年度目標	45%									
期間	S7年度～	7,289千円	0.90人					評価者 企画総務課長 内野 孝雄							
男女共同参画推進センターふらっと	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	昨年度と比較して、相談件数が増加しているため、相談事業の周知や啓発が一定の成果を挙げていると考えられる。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	4,570	4,447	電話相談者数	年間相談件数	相談件数の増加が相談事業の充実にそのまま結びつくわけではないが、相談事業の周知や、男女共同参画社会への理解を深めるための啓発の成果と捉えて指標とする。				講座や研修会、ふらっと祭りなど、様々な機会を利用して相談事業のPRを行った。				
	根拠法令	所沢市男女共同参画推進条例 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する	H28予算現額	H28決算額(見込み)	カウンセリング相談者数	法律相談者数	H28目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	事業の目的及び具体的な内容	電話相談、法律相談、カウンセリング、何でもききます相談の実施。男女共同参画社会の実現のために、その障害となる悩みや問題を解決するための援助事業を行う。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤 特別職	実績	H27年度目標	H27実績	目標達成済			相談件数の増加が相談事業の充実に直接結びつくわけではないので、相談内容なども考慮しながら事業の充実に目指していく。今後は定期的に相談員研修を行い、相談員相互の情報交換を行いながら連携を図っていく。				
	0.30人	0.70人	625人	850件	739件										
	2,598千円	0.70人	187人	800件	852件										
H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤 特別職	0.30人	0.60人	40人	H29年度目標										
期間	S7年度～	2,573千円						評価者 企画総務課長 内野 孝雄							
こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	成果指標の達成率によりB評価としたが、本事業は、専門性の高い相談や適切な連携・情報提供を行っているといえる。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	490千円	381千円	新規相談件数	新規相談件数	様々な相談窓口や情報収集の方法がある中で、最も市民に身近な窓口として浸透しているかの目安とする。				担当者を増やしたことにより、多様化するDV相談において、柔軟な対応が可能となった。				
	根拠法令	配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律、所沢市ドメスティック・バイオレンス被害者等緊急一時保護実施要綱	H28予算現額	H28決算額(見込み)	保護件数	新規相談件数	H28目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	事業の目的及び具体的な内容	内容：電話又は面接によりDV被害者の相談に応じ、助言・情報提供等を行う。緊急性がある場合は、一時保護施設の利用援助を行う。必要に応じ、関係機関の紹介や関係機関との連絡調整を行う。自立のための支援を行う。目的：女性が暴力によって生命や生活の安全を脅かされる状況を解消することによって、安全で安心な生活を確保する。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤 特別職	実績	H27年度目標	H27実績	DVの相談窓口(国・県・市町村・民間等を含む)が増えたため、相談者が分散した。			社会情勢の変化等に応じ、適切な保護を行うため、他の相談機関や保護機関との連携による取組みを充実させていく。また、保護の後に自立した生活が確保できるよう、必要な支援制度を案内できる相談体制の充実に図る。				
	0.73人	0.15人	75件	110件	90件										
	6,322千円	0.00人	1件	100件	75件										
H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤 特別職	0.91人	0.15人		H29年度目標										
期間	H14～	7,803千円	0.00人					評価者 こども支援課長 浅見 仙隆							
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	中学生を対象にしたデートDV防止啓発講座を中学校3校で開催し、また11月の「女性への暴力をなくす運動」月間では、市庁舎ロビーにてパープルリボンキルト展を行うなどドメスティック・バイオレンス(DV)の防止啓発事業を積極的に展開できた。	H28年度に改善した点	無	無		
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託+ 附加	714	646	情報誌「SUN」配布部数	性別による固定的役割分担意識がない人の割合 (市民意識調査による)	性別による固定的役割分担意識の改善を図ることを目的としているため、「男は仕事、女は家庭」という考え方をどのように思いますか?との問いに対して、「反対・どちらかといえば反対」と回答した人の割合を指標とする。				中学生向けデートDV防止啓発パンフレットを作成し、中学校15校に配布した。				
	根拠法令	男女共同参画社会基本法 所沢市男女共同参画推進条例	H28予算現額	H28決算額(見込み)			H28目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	事業の目的及び具体的な内容	誰もが自分らしくのびやかに生きられる男女共同参画の実現に向けて、男女共同参画への関心を高め、性別による固定的役割分担意識の改善を図ることを目的とする。主な内容として、男女共同参画情報誌「SUN」(年2回発行 各5,000部 関係機関並びに公共施設・学校等に配布)を発行する。	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合 非常勤 特別職	実績	H27年度目標	H27実績	目標達成済			平成14年度から開催してきた「男女共同参画のつどい」(旧：男女共同参画フォーラム)が平成28年度で15回目の節目を迎えたため、一定の啓発の成果を出したと考え、開催を終了した。今後は、増加するドメスティック・バイオレンス(DV)の防止啓発や女性活躍推進法に基づく啓発に一層重点を置いて啓発事業を行っていく。				
	0.42人	0.00人	10,000部	48%	55%										
	3,637千円	0.00人		48%	54%										
H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合 非常勤 特別職	0.45人	0.00人		H29年度目標										
期間	S56年度～	3,859千円						評価者 企画総務課長 内野 孝雄							

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの
企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	夜間の時間帯に開催した講座以外の講座のほとんどで多くの申し込みをいただけており、アンケート結果も好評であったことから、市民に関心を持ってもらえる講座を企画・実施できたと考える。今後も市民の要望を反映しつつ、男女共同参画への理解を促すための講座を実施していきたい。	H28年度に改善した点		無	無
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	1,099	995	講座参加者数	男女共同参画に対する理解度		男女共同参画に対する理解や意識の向上を図ることが当該事業の目的であるため、講座終了後のアンケート調査の結果(「男女共同参画に(少しでも)関心を持てた」を回答した人の割合)を指標とする。				試行的に夜間の時間帯で講座を開催したが、集客があまりできなかったため、今後開催する場合は、講座の内容や対象、曜日など検討する必要がある。			
	ふらっと企画講座実施事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	実績	H27年度目標		H27実績				H28目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
		所沢市男女共同参画推進条例	1,195	1,007		95%		93%							
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合		H28年度目標		H28実績							
		多くの市民等に向けて男女共同参画への理解と意識の向上を図るため、男女共同参画に係る講座・研修・講演会などの開催を行う。	0.80 人	0.90 人		95%		93%							
	期間	S7年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	2,116人	H29年度目標						評価者 企画総務課長 内野 孝雄	男女共同参画についての認識や理解を深めるために、講座や講演会及び企画事業を通して市民の参加促進を図る。 また、中学校でのデートDV防止啓発講座については、毎年度順次開催し、最終的に全校で実施するよう引き続き進めていく。		
			0.75 人		95%										
			6,431 千円	0.50 人											